

水月湖2014年コア：もっと深く！ Lake Suigetsu 2014 varved sediment core: exploring into deeper horizons

中川 毅^{1*}; SG14 プロジェクトメンバー¹
NAKAGAWA, Takeshi^{1*}; SG14, Project members¹

¹ 立命館大学 古気候学研究センター

¹Ritsumeikan University, Research Centre for Palaeoclimatology (PRITS)

福井県の水月湖は、7万年分の連続した年縞堆積物を持つことで知られ、1993年、2006年、2012年と、これまで3回の本格的な学術掘削がおこなわれてきている。だが現存するサンプルの量に限りがあることが、新たな研究の発展に対して制約となっていた。また水月湖の知名度の向上に合わせて、研究で消費される前の状態の年縞堆積物を、一般向けに展示する要望が高まっていた。以上のことから、2014年の夏に水月湖の再掘削を実施した。採取されたコアはこれまでのコアより30%ほど長く、年縞の保存状態も良好であった。SG14と名付けられた新しいコアの概要について発表する。

キーワード: 水月湖, 年縞堆積物, SG14

Keywords: Lake Suigetsu, Varved sediment, SG14

